

7 組み立て



- リザーバにプライミングライン回路を接続する。



- 血液ポンプ部分の回路を作成する。
- 装置のレイアウトに合わせ、必要に応じて回路を切断する。



- 遠心ポンプに、装置のレイアウトに合わせたポンプ回路をつなげる。

Point

ローラーポンプの場合は、必要な長さ・サイズのポンプチューブを準備する。

注意！

ポンプ回路は、流入・流出側の接続に間違いがないか確認する。



- 血液ポンプ回路をリザーバ出口と人工肺入口に接続する。



- 脱血回路をリザーバ入口に接続する。



- 送血回路を人工肺出口に接続する。

8 吸引回路をリザーバに接続

- 左室・左房ベント回路，ルートベント回路，出血回収回路などの吸引回路をポンプヘッドにかけ，回路の一方をリザーバに接続する。

Process 1 ECMOの準備～導入～移動

1 医師指示の確認

- ECMOの導入実施について医師の指示を確認する。
- カニュレーション部位，体格を考慮し，カニュレの種類とサイズを選択する（「第2章 2 カニュレの種類と基礎知識」参照）。

2 物品準備



- ECMO装置，カニュレ，回路を準備する（「第2章 1 人工心肺とECMOの構造と名称」参照）。
- 外箱にて滅菌期限（使用期限）を確認する。

- 外箱を開け，滅菌バッグの破損がないか確認する。



- 手指消毒を行う（「第3章 Process3-1 1 手指消毒」を参照）。

Point

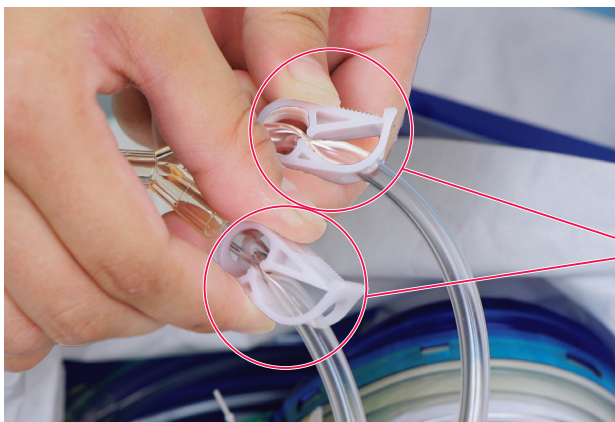
消毒液などアルコール性の薬剤は，人工肺の筐体などに使用されるポリカーボネートを劣化させる危険があるため，使用する場合は，完全に手が乾いてから次の作業に進む。

- 滅菌バッグを開け，回路の外れがないことを確認する。外れている場合には取り付ける。

注意！

清潔部を触らないように注意する。

3 回路の組み立て



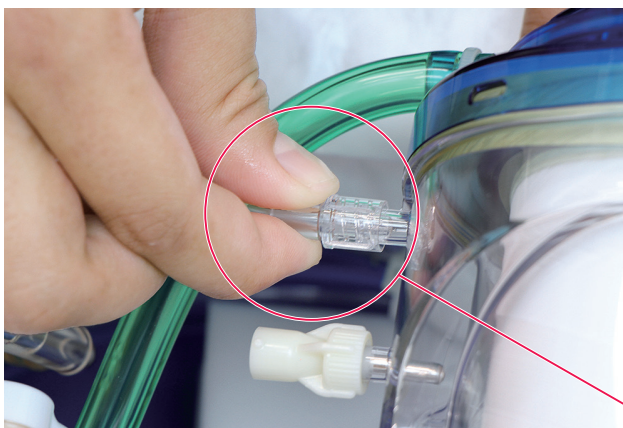
● プライミングラインのクレンメを閉じる。

クレンメを閉じる



● 各種キャップを閉める。

キャップが閉まっている



● 回路内の各接続部の増し締めを行う。

Point

滅菌時の熱などの影響で破損する可能性があるため、接続部は完全に締められていない状態である。

接続部に緩みがない